

# 2way タックパンツ 作り方



- こちらのパターンは8~9分丈タックパンツとタックショートパンツの2通りの形をお作りいただけます。それぞれの丈で股上の長さも変えています。
- クロップド丈・ショート丈ともに工程や縫い代幅は同じですので、こちらではクロップド丈のみでの説明です。
- すべて縫い代込みとなっておりますので、そのまま切り取ってお使いください。クロップド丈用・ショート丈用と線が2通りある箇所は、折るか写してお使いください。
- 「わ」の表記と指定の数字以外は縫い代1cmです。
- 家庭用ミシンのみでも作製できます。
- 説明文にある「端を処理します」とはロックミシンorジグザグミシンで端をかがることです。

### 推奨生地

- ローン、リネン、シャツコール、チノ、薄手デニム、ストレッチ生地などの薄手~中厚生地
- ウエストをニットで作る場合はリブニット

### ★出来上がり寸法(cm)

	80	90	100	110	120	130	140	150	160
ショート股上	19	19.5	20.5	21.5	22.5	23.5	24.5	27.5	28.5
クロップド股上	21	21.5	23	24	25.5	26.5	28	30.5	31.5
ショート股下	3	3.5	4.5	5	5.5	6	6.5	7	8
クロップド股下	17.5	21	26	30	34.5	39	42	47	54
ヒップ	62.5	67	71.5	76.5	80	85.5	90	100	104

※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

### 準備

- ★フラップの表側になる面に接着芯を貼っておく。
- ★合印を入れておく。

### ★必要用尺(cm)

	80	90	100	110	120	130	140	150	160
110cm幅	50	60	65	75	85	125	140	145	160
ゴム寸法	41	43	45	47	50	51	52	54	56

※全て共布で作製した場合の用尺です。  
柄合わせなどがある場合はこれより多めに用意してください。  
※ゴム幅は2~3cm程を推奨しますが、リブの面積が大きめに作られているため、少し余ります。気になる方はリブの高さを少し減らして作製してください。  
※ゴム寸法は目安です(1cm重ねて縫い止める)。  
お子様の体型に合わせて調節してください。

### ★必要パーツ 計15パーツ



# 縫い方手順

## 1. 前パンツにポケットを付ける



前パンツとポケット袋布を中表に合わせ図のように縫い合わせます。縫い代に細かく切り込みを入れておきます。レースなどを挟む場合はここで挟みます。



ポケット袋布を表に返してアイロンで形を整え、端から5mmくらいのところにステッチをかけます。



ポケット袋布と前パンツ脇布を中表に合わせ、カーブのところを縫い合わせます。端を処理します。

## 2. タックを入れる

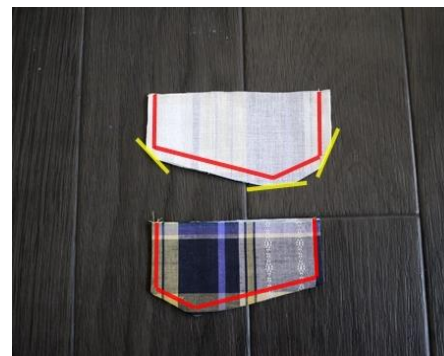


3本線の真ん中をそれぞれ山にしてタックをたたみ、ポケット側へ倒します。そのときポケット布を一緒にたたまないよう注意してください。



たたんだタックを仮止めします。ポケット布の重なりも一緒に仮ミシンしておきます。(3cm程アイロンでクセを付けると楽です。) ※タックは必ずまっすぐたたんだ状態で仮止めしてくださいね。

## 3. フラップを作る



2枚を中表に合わせ、周りを縫い合わせます。角を切り落として表に返し、アイロンで形を整えてから端から5mmくらいのところにステッチをかけます。

## 4. フラップとヨークを付ける



後ろパンツ表とフラップの接着芯を貼っていない方の面を合わせ、仮止めします。このときフラップの短い方の辺を股側にしてください。



フラップを挟むようにして後ろヨークを合わせ、中表にして縫い合わせて端を処理します。ヨークの方向を間違えやすいので確認して付けてくださいね。



ヨークを表に返し、ヨーク側に縫い代を倒してアイロンで形を整えます。端から5mmくらいのところにステッチをかけます。

### 5. 前後パンツを縫い合わせる



前パンツと後パンツを中表に合わせ、脇と股下を縫い合わせて端を処理します。  
※この手順だと後から筒状になった裾を縫いますが、面倒な方はここで脇線のみ縫い合わせたあと、先に裾を縫ってしまってから股下を縫い合わせると裾が楽に縫えます。



左右同じように作り、表に返したパンツを、裏の状態のパンツの中に入れます。



股中心、ヨーク端、股上端の4点をしっかり合わせて縫い合わせ、端を処理します。股中心前後2cmくらいの縫い合わせ部分を何度か返し縫いをするとう強度が増します。

### 6. ウエスト布を付ける



表を内側にして半分に折りたたみ、ゴム通し口をあけて端を縫います。  
(6の工程はリブウエストも同様)  
※ウエスト布の幅を太めに設定しているので、真ん中にステッチを入れ細めのゴムを2本通していただいたり、上端から1センチ位の所にステッチを入れてフリルにしても可愛いです。



裏に返したパンツの中にゴム通し口が見える向きでウエストベルトを入れ、合印を合わせて縫い合わせます。端を処理します。

### 7. 裾を縫う



裾を1cm + 1.5cmで折ってアイロンでクセをつけておきます。



端から1.3cmのところからステッチをかけます。  
※5の工程で先に裾を始末した方は股側に裾の縫い代を倒してジグザグステッチをかけておくといいかと思ひます。

